

埼接ミニ情報 24年8月号

発行
公社 埼玉県接骨師会
企画総務部

厳しい残暑が続いておりますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

ロンドンオリンピックが日本時間の8月13日早くに閉会式が行われ17日間の幕を閉じました。残念ながら柔道競技では期待されたほどのメダル数は獲得できませんでしたが、日本チーム全体としては史上最多のメダルを獲得しました。特にサッカーやバレーボールをはじめとする団体競技の活躍が今までになく目立った大会でもありました。日本人特有の規律のよさ、チームのために頑張るといった姿勢がこのような結果を生んだのではないのでしょうか。また、メダリストの多くが、支えてくれた周囲への感謝の言葉を口にしていました。団体競技だけではなく、個人競技に於いても、競技指導者はもちろんのこと、家族、フィジカル・メンタルコーチ、トレーナー、栄養士、練習相手等、多くの方々がひとりの選手を支え成功に導いています。

本会に於いてもこのことは同様です。執行者と会員だけで本会が成り立っているわけではありません。様々なアドバイスをしてくださる顧問の先生方、受領委任制度を推進する行政、保険者の方々、煩雑な事務処理を日々の確に行って下さる事務職員の方々、そして、なによりも我々の技術・人間性を信頼して受診してくださる患者様など、色んな人たちの支えにより、本会は存続し、各会員の生活が成り立っています。ややもすると自分ひとりの力で生きていると勘違いしがちですが、決してそうではありません。今後も私たちの職業を守るため、支えてくださる方々の期待により一層添う団体でなければなりません。

9月23日の記念式典の開催趣旨も同じです。日頃の感謝の意を表するとともに、出席いただく県内・外関係者に、公益社団法人の会員として、県民の利益に必要な柔道整復術の発展と受領委任制度の推進に一人ひとりが全力を尽くす決意を表明する場となります。現在お陰さまで予想以上の会員皆様が出席してくださることになっています。業界のリーダーとして、一致団結し邁進する姿を内外に示す、まさに記念すべき式典にしたいと考えています。会員の皆様のご理解と更なるご協力をお願いいたします。

【新しい看板が設置される】

本会会館正面玄関の看板が新しくなりました。深緑地に銀文字で「公益社団法人 埼玉県接骨師会」と浮き彫りされています。

今後、庇の横文字も新しくする予定です。

会館にお越しの際は是非ご覧になって下さい。



【埼玉県柔道連盟との協議会開催される】

平成24年8月21日(火)上尾駅前アリコペールサロン4階東武バンケットホール上尾にて、埼玉県柔道連盟と公益社団法人埼玉県接骨師会の定例の協議会が開催されました。

協議内容としては、中学校武道必修化の現状と柔道の安全指導について中島政司柔連会長から説明があり、それに対して本会として協力できることはどのようなことがあるのか活発に意見交換がなされました。また、今後とも友好団体として、本会の公益目的事業である埼玉県下少年柔道大会においても更なる公益性のため、様々なご協力もいただけるとのありがたいお話もいただきました。

柔連出席者 中島会長、村田・瀧辺両副会長、藤村事務局長、村田会計部長

本会出席者 阿部会長、本間・渡辺両副会長、大河原専務理事、町田事業部長、事務局



柔連・埼接役員協議会



中島 政司 柔道連盟会長

【保険部】 支給申請についての留意事項

①3部位以上の負傷原因について

3部位負傷で、後療料又は冷電法に0.7が発生した場合に限り、負傷の原因が必要となります。負傷の原因を記載する際には、個々の部位ごとの負傷原因に『どこで、どの部位を、どうした』と詳細に記入すること。《悪い例：重い物を持って負傷する。朝起きた時痛くなった》

②濃厚施術について

打撲・捻挫・挫傷が25回以上の施術を行っている場合は、絶対的な理由がない場合に限り審査の対象となり返戻されます。《悪い事例：患者の希望により施術》

【今後の主な予定】

- ①平成24年9月23日(日) 午前12時～公益社団法人移行設立記念式典・祝賀会
- ②平成24年9月29日(土) 午後7時～研修会開催(スキルアップ) 埼接会館3階
- ③平成24年11月11日(日) 午前10時～『公開講座』第29回学術講演会
浦和コミュニティセンター(多目的ホール) 浦和パルコ10階
- ④平成24年11月11日(日) 午後1時～第27回学術研修会
浦和コミュニティセンター(15集会室) 浦和パルコ9階
- ⑤平成24年12月9日(日) 午前10時～保険業務講習会
熊谷会館
- ⑥平成25年2月23日(土) 午前10時～市民公開講座
東部地域振興ふれあいセンター(春日部市)

